

## 昭和興産（上海）貿易有限公司

昭和興産

# 輸出好調、売上高最高に



雷国光 董事長・  
總經理

昭和興産（上海）貿易は次の20年に向けて、新たな一歩を踏み出した。2023年は中国経済の成長が停滞したなか、日本・タイ向け輸出ビジネスがけん引し、過去最高の売上高を記録した。雷国光董事長は「これまで種まきしてきた調達ネットワークが実を結んだ。国内需要が冷え込むなか、輸出事業でカバーできる強靱なポートフォリオを構築できた」と胸を張る。

昭和興産グループの海外拠点は中国のほか、タイ、インドネシア、ベトナムに加え、24年に韓国拠点が立ち上がる予定。これにより日中を含め6カ国の海外網を持つことになる。中国はアジアのハブ拠点として、各国の海外事業発展に貢献していく。中国国内市場向け自動車・電材関連需要が低調になるなか、日用衛生用品原料が好調に推移したことや、タイ向け輸出では

食品関連商材、電線用部材が堅調に推移した。日本向け輸出でも衛生器具、包装材料などが大きく伸長したことに加え、これまで取り組んできた新たな電材・半導体関連商材も実績化となり、売り上げ増に貢献した。さらに次年度24

年には、サンプルワークを続けてきた半導体搬送用容器も事業化できる見込み。リチウムイオン2次電池（Li-ion）向けには電解液・正負極、タブなど幅広い商材を持つ。定置用蓄電池用には、タイのベンチャー企業とナトリウムイオン2次電池（Na-ion）の負極材料に使用するハードカーボン材料の研究開発を進めている。

グループでは24年から新中期経営計画がスタートする。インドネシア向け輸出を注力テーマに掲げており、中国でもニーズに迅速に対応していく。成長事業として、自動車向け離型フィルム、太陽光パネル材料、Li-ion、医療などメガトレンドへの対応も強めていく方針。

上海市長寧区遵義路100号 南豊城A幢2205-06室 電話 +86-21-6235-1028